

小松島市立学校再編基本計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果

- | | |
|-------------------|--|
| 1 意見募集案件 | 小松島市立学校再編基本計画（案） |
| 2 意見募集期間 | 平成 30 年 10 月 5 日（金）～平成 30 年 10 月 29 日（月） |
| 3 閲覧場所 | 市ホームページ・市教育政策課（教育庁舎 2 階） |
| 4 意見提出者数 | 2 名 |
| 5 意見提出件数 | 6 件（内、意見提出要件を欠くため掲載しないもの 1 件） |
| 6 意見等の概要と教育委員会の見解 | 下記のとおり |

No.	意見等の概要	教育委員会の見解
1	再編基本計画に賛成です。現在、私の子どもは小学生ですが、1 学年 1 クラスという状況に大変驚いています。他の小学校もほとんどが 1 学年 1 クラスと聞いております。幅広い友達関係を築くには学校数を減らして、クラス替えができる規模の学校が必要と考えます。	小規模校は、一人ひとりにきめ細やかな指導を行うことができるなどの利点がある反面、過度な小規模化は、児童の集団活動や人間関係、学校運営など、学校教育の様々な面への影響が心配されます。子どもたちの成長にとって望ましい教育環境を実現していくために、学校再編を進めてまいります。
2	学校を再編することで、学校の人件費や設備維持費用も軽減されると思います。	公立小学校の教員や事務職員のほとんどの人件費は県費負担となっていますが、日々の光熱水費や運営経費、消耗品などについては市費負担となっているため学校再編によってそれらの経費は軽減されるものと思われます。 この度の学校再編は「教育環境の整備」を最優先とすることから、まずは、より良い教育環境を子どもたちに提供できるように今後も検討を進めてまいります。

3	<p>再編案もいくつかあったと思いますが、学校数が一番少ない案に賛成です。勉強の仕方や方法、人との関わり方も技術の進歩でどんどん変わってきております。将来的には、学校のあり方も今と違う考え方になっている可能性だってあります。これから10年、20年、30年人口は減り続けるので中途半端に再編するよりも思いきって減らすべきだと思います。</p>	<p>有識者会議では、サンプルとしていくつかの再編案を提示させていただきました。具体的な学校数は実施計画に記載する予定ですが、ご指摘にあるような社会情勢の変化も視野に入れつつ、今後、学校数を考えてまいります。</p>
4	<p>通学する子どもたちの事を考えると新しい学校の場所については、将来的な道路計画等を考慮した立地、車の流れの予測、小松島インター開通後の周辺の開発計画、災害時に安全に避難できる立地、徒歩が無理な距離であれば公共交通機関の利用、通学専用バスの対応などを踏まえ、慎重に考える必要があると思います。</p>	<p>場所の選定については、ご指摘にあるような多様な要素が関係してまいります。そのため、教育委員会だけでなく、市長部局や専門機関と連携しながら、総合的に検討してまいります。</p>
5	<p>ちょっと難しいかもしれませんが、自治体枠にとらわれない学校再編(羽ノ浦小学校や大松小学校への通学)もあってもいいかなと思います。</p>	<p>教育委員会としては、「市内全ての子どもが公平で適正な教育環境を享受できること」(「小松島市立学校再編基本計画(案)」P11参照)を目指す必要があると考えておりますので、原則、この考えに基づきながら再編を進めてまいりたいと思います。</p>

※ パブリックコメントの実施結果による基本計画(案)の修正・変更はありません。

お寄せいただいた御意見は、今後の取組みに当たっての参考とさせていただきます。